

令和7年9月26日

【注意喚起】デンマーク国内の空港におけるドローン飛行事案

【ポイント】

9月22日から25日にかけてデンマーク国内の複数の空港にて正体不明のドローンによる飛行が確認されました。これにより、一部空港の閉鎖やフライトのキャンセル等も発生し、デンマーク政府もデンマークの重要インフラに対する深刻な攻撃として、対策の強化に乗り出しています。今後、同様の事案や警戒強化の影響により、不測の事態が発生する可能性も排除できませんので、関係機関の発表等最新の情報入手に努めて下さい。

【本文】

9月22日夜間から23日にかけて複数の正体不明のドローンがコペンハーゲン空港を飛行したことにより空港が約4時間閉鎖され、多くの航空便が迂回又はキャンセルとなった事案が発生しました。また、24日夜間から25日にかけても正体不明のドローンがユトランド半島内の4つの空港(オールボー空港・エスビャウ空港・スキュドストロップ空港・ソナボー空港)を飛行したことにより、オールボー空港では空港が一時閉鎖となった事案が発生しました。

デンマーク政府は、25日午前警察・国防関係の緊急合同記者会見を開催し、デンマークの空港でのドローンの飛行は欧州全土で起きている憂慮すべき一連の事案と関連するもので、デンマークの重要インフラに対する深刻な攻撃であるとの認識を示し、警戒態勢を高めて関係当局で事態に対処しています。

今後、同様の事案の発生や警戒態勢の強化により、空港の閉鎖、フライトの遅延・キャンセル等の不測の事態が発生する可能性も排除できませんので、デンマーク政府や空港等関係機関の発表や報道等により最新情報の入手に努めてください。

●コペンハーゲン空港(カストロップ空港)

<https://www.cph.dk/en>

●デンマーク国家警察ウェブサイト

<https://politi.dk/rigspolitiet/nyhedsliste/nosten-er-i-operationsberedskab-grundet-de-seneste-dages-droneaktivitet/2025/09/25>